

第 2 回 群 馬 地 域 審 議 会

総合計画実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
生涯学習センター（仮称）建設事業について	1	<p>一番気になっているのは、センター内の集会ホールについてであるが、当初200席となっていたが、文化協会の文化祭をみてもかなりの動員数が考えられるので、350人程度は収容できるような融通のきく施設にできないか。</p> <p>また、車椅子が20～30台は収容できるような障害者も利用しやすい施設ということも配慮してもらいたい。</p>	<p>当センターについては、そろそろ基本構想を決定していかなければいけない時期であるが、極力委員の要望も踏まえて調整を進めていきたい。</p> <p>車椅子の件についてはユニバーサルデザインを基本におき、出来る限り障害者の方、また、環境にもやさしい施設作りを念頭に置いている。</p>
	2	<p>駐車場については、道路を挟んだ北側に整備するということが、その場合、結構交通量の多いところを横断することになるが、歩道橋等安全対策は考えているのか。</p>	<p>現群馬公民館跡地に駐車場整備した場合においては道路横断の際の安全対策を講じなければならない。また、この地域の場合駐車場を整備する場合は雨水対策が必要であること、また、センターの周囲を駐車場だらけにするか、緑にするかという選択も出てくる。</p> <p>今の段階においては、交通規制を警察のほうと調整しながら進めていくというほうが、両者を天秤にかけた場合はより良いのではないかと考えている。</p>
	3	<p>委員のような文化面で活躍されている方が、ある程度の広さを確保できなければというお話をされている。実際に使う方がそのような意見を持っているということなのであれば、それを尊重し欲しい。また、ある程度の広さを確保できないと、稼働率アップにもつながらないのではないかとと思われる。</p>	<p>当施設は生涯学習センターとして計画しているもので、文化会館として建設をするわけではない。規模的に400～500人を収容できる施設をとということになると、それについては文化施設として有料で提供していかなければならない。</p> <p>ただし、群馬地区には400～500人の集会施設がないので、それについてはその程度収容のフラットな床の場所を併設したいと思っている。</p> <p>生涯学習センターという基準のなかで、できるかぎりの努力はしていきたい。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
生涯学習センター（仮称） 建設事業について	4	生涯学習センターと文化施設の間には、規模的な位置付けというものがあのか。	文化施設は有名な音楽家を呼んでくるような文化の高揚に役立つもの、それに対して今度建設するものは社会教育で定められた施設であり、例えば群馬公民館を大きくしたようなものが生涯学習センターということになる。
	5	センター内に調理室と飲食の出来る場所を整備すると聞いたが、すぐそばの福祉会館内にも同じような施設があり、機能が重複するのは。	例えば、福祉会館の調理室と生涯学習センターの調理室で機能が同じではあるが、両者の役割については異なる。生涯学習センターについては全市民が利用できることを視野においているので、規模的には福祉会館よりは充実したものにしたい。そして、その規模の施設にしたところで利用率が伴わないといけない。 社会教育施設については今後とも生涯学習の重要性が市民に認識されるとともに、団塊の世代の方の利用も見込まれるので相当な利用が見込まれるものと予想される。
	6	長寿会の活動は現状では高崎市文化会館で行われることが多いが、駐車場が遠く年配の方が利用するにはかなり厳しい面がある。そういった意味で生涯学習センターとの関わりはどうかお聞きしたい。	市文化会館については、文化会館と図書館と中央公民館の複合施設となっている。今回の生涯学習センターについては教員の研修センターと貸し部屋等を中心とした社会教育施設となっている点でご利用いただく際には若干の差があるかと思われる。しかしながら、高崎市民文化会館の駐車場については、確保の面でだいぶ目処がついてきているようなので、今後は、年配の方が利用する際も十分なものになっていくと考えられる。
	7	老朽化した群馬公民館は生涯学習センターの駐車場にするという計画だと伺ったが、生涯学習センターと平行して進めていくのかどうか、その日程を教えてください。	群馬公民館についてはかなり老朽化していることもあり、センターができあがった時点ですぐに解体し、跡地は駐車場とする計画となっている。なお、現在の群馬公民館の定期利用団体については、引き続き生涯学習センターや各小学校区の地区公民館において対処していく予定である。

事業名	No.	質 疑	回 答
群馬地域野球場（仮称）整備事業 北部公園（仮称）整備事業	8	スポーツに参加する場合は3つに分けられる。プレイヤーとして、指導者として、観戦者としてである。当野球場に関しては、の応援する人の立場にたった視点が欠けているように思う。もう少し、観戦する人のことを考えた施設にしていきたい。	群馬野球場については軟式野球愛好者をはじめとして、気軽に利用できる実用的な球場を考えており、観戦者については、今のところ1,000人程度の観客席を設ける予定である。
	9	観覧席について1,000席くらいという話だったが、最低でも1,500~2,000席はないと充実した野球場とは言えないのではないか。一度建設してしまうと、改修がなかなか簡単にはできないので、いま一度検討していただけないか。	当初、球場規模については貝沢球場と同等にということで合意を得ていたが、町内やスポーツ団体等の要望を踏まえ、グラウンドは城南球場と同程度の大きさとし、外野にホームランゾーンも設置し、なおかつ観客席も駐車場も貝沢よりは増やすということで考えている。ただし、観客席1,500人以上ということになると、そこに来ていただくための駐車場も相当数確保しなければならない。そうすると、運動広場の面積にも支障をきたすことになるので、今のところは1,000人程度ということで検討している。
	10	各部署の専門職員によるプロジェクトチームを組まないと事業がうまく進まないのではないか。	プロジェクトに関しては今のところ考えていないが、群馬教育課・群馬支所産業課・土木課の協力のもと進めている。
	11	野球場・中規模運動広場・公園の面積併せて5haで整備するという事は、公園の面積はどのくらいを考えているのか。	今のところ、野球場、中規模運動広場：公園で3：2くらいの面積比率で考えており、当初考えていた北部公園の広さからすると1/2くらいになるものと思われる。
	12	今の公園緑地課長の話だと1/3くらいを公園のスペースと考えているようだが、野球場というのはある程度のものを造ると少なくとも駐車場抜きにして2haは必要かと思われる。駐車場と多目的広場を併設することになると3haで足りないのでは。そうすると、公園の面積は5,000㎡~8,000㎡くらいになってしまう。また、駐車場についてはスポーツ課長の話によれば1,000席ということだったので、そうすると500台駐車できるスペースが必要となるかと考えられる。そういう風に逆算をしてもらって現実に近い形で図面を示していただきたいが、実際の図面を示してもらえるのはいつ頃になるのか。	野球場は、今後の予定については基本計画を策定する業者を決定し、その後関係部課長の検討委員会で詳細は決定していく予定。 県への事業認定の申請については、今年度末を目処にということで予定をしているので、基本設計については今年度いっぱいにはできるかと思われる。基本設計が出来次第、また審議会に提示させていただく。

事業名	No.	質 疑	回 答
群馬地域野球場（仮称）整備事業 北部公園（仮称）整備事業	13	<p>今までの話だと、まず5haありきで、その中に野球場と広場と公園を納めるという考えのように思えるが、納まらない場合には当然用地を広げていかなくてははいけないかと思われる。北部公園整備事業については、群馬町時代に防衛の補助が用地で1/3、施設整備で1/2補助してもらえと思ったが、そういうことも検討してもらって十分な土地の確保をお願いしたい。</p>	<p>まず、北部公園整備事業についての民生安定防衛補助の件についてであるが、現在では大変厳しい状況になっており補助が受けられるのが箕郷地区に限られてしまっているのが現状である。群馬町時代の計画により進めようとしても防衛の補助が受けられない状況であり、その場合は、すべて市の単独費で事業を進めざるを得ないのが実情ということをご理解をいただきたい。</p> <p>次に、野球場建設事業については、グラウンドに関しては硬式野球場なみの十分な広さを確保していくということだが、その他については貝沢球場並みの軟式野球場を念頭におき事業を進めているので、今この段階で硬式野球場（城南球場等）と比較しての議論がされているようだと、全体の計画が進んでいかないものと懸念される。グラウンドの面積の確保に伴い、運動場や公園の面積は削られてしまうわけであり、関係者の方々には多少の不満が残るかと思うが、是非広い視野で考えていただき、是非全体がうまく進むよう議論をお願いしたい。</p>
	14	<p>500台程度の駐車場というのは、だいたいどの程度の面積が必要となるか。</p>	<p>高校野球で城南球場を使用する場合、芝生の駐車場に400台～500台を駐車できる。芝生の面積がだいたい15,000㎡なので、だいたいそのくらいの面積が必要となるのではないと思われる。</p>
	15	<p>15,000㎡が必要となると、今計画されている5haの中ではとても足りないのではないか。だとすれば、駐車場用の十分な土地を確保していただきたい。</p>	<p>現在のところ、駐車場については約120台のスペースを考えており、軟式野球愛好者対象の施設なので、そのスペースで十分ではないかと思われる。</p>
	16	<p>最初から土地の手当てが無理なようであれば、一期工事で野球場と多目的広場を実施し、二期工事で公園を実施するという方法もあるかと思われる。その方法により、多少完成時期が遅くなったとしても十分な面積を確保してもらいたい。</p>	<p>事業認定をとる段階で、一期工事、二期工事ということとするのではなく、最初から全体で事業認定をしてもらうので、その手法は無理かと思われる。</p> <p>あとで、公園部分を買いつくということは不可能であり、一体として事業認定を受けることになっている。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
群馬地域野球場（仮称）整備事業 北部公園（仮称）整備事業	17	この手法が無理なようであれば、最初から面積を確保して事業認定を受けるべきなのではないか。	以前に北部公園事業のみでご議論いただいた時に、土地の起伏を生かしてジョギングコースのような公園の作り方もよいのではないかというご意見をいただいた。その後、野球場の事業と一緒に整備していくとしたときもこのコンセプトは十分に生かしていこうということを受けて、担当課のほうも散歩やジョギングに適した設計を心得てすすめている。一概に単に面積が大きいから良い公園になるという考えはなく、一体として整備する野球場や広場、そして隣接する絹の里との連携をうまくとりながら、この地の景観の良さなども活かした設計ができるものと確信している。これらを踏まえ、予算上では5haの中で一体整備が可能であると判断し進んでいることをご理解いただくようお願いしたい。
	18	高崎市と前橋市の文化・スポーツ面を比べたとき、スポーツ面においては高崎が若干遅れているのではないかと思われる。先日野球場の建設に伴って、前橋市民球場を見せていただいたが、高崎の貝沢球場と比べるとかなりのギャップがある。最近では高崎も活発になってきているのは感じるが、こういった中でこの群馬地区の野球場に関しても早急に立派なものを作っていただいて、施設が有効に利用できるようお願いしたい。	<p>高崎も限られた予算ではあるが、毎年なんらかの形で文化・スポーツ施設の拡充を進めている。群馬地域に限らず、高崎市全体の多くの皆様方が親しんでいただける施設として、そして将来も残っていくものをと考えている。しかしながら、その一面では物理的な制約とかあるいは財政的な制約もあるので、段階的に整備するとか、あるいは施設を徐々に拡充していくとかいう方向もあるかと思う。またいろいろ皆様方の意見をおききしながら、なるべく良い施設を作っていけるよう努力をしたい。</p> <p>スポーツ施設については、今までの県の整備の仕方がおかしかったと思われる。県都を中心に県立の施設を作ってきたため、あらゆる施設がみんな前橋市に集中してしまっているわけで、私どもは、高崎市の予算であらゆる施設を整備してきた。そういうことで、前橋と高崎それぞれの施設を比べれば見劣りするの当たり前のことだが、そういったギャップを乗り越えようと常に努力している。高崎としては、前橋に見劣りしないものを作っていきたいと思っているが、県が前橋にこれまで集中させてきた分を今後取り戻すにはなかなか時間がかかると思う。しかし、できる限り努力をしまいたい。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
三ツ寺公園(仮称)整備事業	19	<p>スポーツに参加する場合は3つに分けられる。プレイヤーとして、指導者として、観戦者としてである。当野球場に関しては、の応援する人の立場にたった視点が欠けているように思う。もう少し、観戦する人のことを考えた施設にしていきたい。</p>	<p>当質疑は野球場建設事業の場での質疑であるが、内容的には三ツ寺公園整備事業のものとなるので、審議会本番で再度群馬支所建設課長より回答するもの</p> <p>当施設は中規模運動場の代わりとして整備するもので、基本的にはプレー愛好者のスペースと考えている。また、広々とした空間を確保するためにも、観覧席などの建造物は設置せず、観戦に訪れた方々には周りの芝のスペースを利用していただきたい。</p>
	20	<p>ソフトボール場について、様々な野球場があるが、だいたい北東か北西にホームベースがあるが、こちらのホームベースは南西の隅に造られるようであるが、南側にホームベースがあると使いづらいのではないかと。</p> <p>もし可能であれば、多目的広場のほうにソフトボール場を作るとその辺が解消されるのではないかと思うが、検討した経緯はあるのか。</p>	<p>日差しの関係も専門の方の意見によればそれほど影響はないのではないかとということであり、グラウンドへの出入りの利便性も考えて、駐車場側にダッグアウトとかホームベースを配置した。</p> <p>また、多目的広場とソフトボール場の配置を代えてはどうかというご意見だが、一番北側に配置する遊戯広場で遊ぶ児童への安全面の配慮により、当図面のような配置となった。つまり、ソフトボール場から飛び出したボールから児童の身を守るために多目的広場を間に配置しワンクッションおくものとした。</p>
	21	<p>遊戯広場について、一番奥まった北側に配置されているが、最近では児童を狙った悪質な犯罪が相次いでいるので、そういうことを回避するためにも駐車場に近い側に配置したほうが児童に目が届くと思われる。</p> <p>もし、それが不可能であれば、暗くて怖いイメージをつくらぬよう照明等により明るい場となるよう考慮していただきたい。</p>	<p>群馬町時代に第一期工事として遊戯広場の北側に老若男女が集える場として公園が整備されている。これとの関連もあり、並びの位置に今回この遊戯広場を配置することとなった。またソフトボール場については、先程も申し上げたとおり駐車場に近い方が荷物の持ち運びを考えれば利便性が高いのではないかとということ、このような配置に落ち着いた。ただ、委員さんのおっしゃるとおり照明等極力明るさを保てるよう配慮させていただきたい。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
三ツ寺公園(仮称)整備事業	2 2	<p>図面からすると、遊戯広場に遊具が設置されているようであるが、遊具の種類とか大きさについて教えていただきたい。</p>	<p>図面下側の落花生の形をしているものが、「フワフワドーム」という遊具で、中に空気を張ることにより上側に小山状の状態を作り、その上で飛び跳ねることによって遊べるというもの。これは、いろいろなアンケートからも、また全国的な意見からもとても評判がよく、またお子さんにも喜んでもらえているようである。例えばナイフ等で切られてしまうと空気が抜けてしまうので、管理面から考えると多分に大変な面はあるが、皆様の希望を優先して設置したい。そして、上側の遊具が規模の大きい多目的遊具であり、こちら小さいお子さんから少し年の大きいお子さんまで楽しめるというものとなっている。</p>
	2 3	<p>先程の北部公園にしても、三ツ寺公園にしても出来あがればかなり大きな公園になるかと思われるが、災害のときの配慮はどうなっているのか。</p>	<p>ここ最近では、公園を設置する場合、バリアフリーと防災に向けた対応は検討しなくていけないことになっているので、これは十分に配慮をしながら進めている。</p>
	2 4	<p>野球場に付随する多目的広場や三ツ寺公園のソフトボール場が整備されることによって、国府地区にある現存の中規模運動場は将来的には廃止返還ということになるのか。</p>	<p>基本的には10年間はお借りするという契約になっている。その後は返還ということになるが、それまでに2ヶ所(北部公園と三ツ寺公園)を整備する予定である。</p>
	2 5	<p>三ツ寺公園の遊具については有料になるのか。箕郷地区は無料のようだが、群馬地区については現時点での予定を伺いたい。</p>	<p>原則的には無料で考えている。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
<p>群馬中央第二土地区画整理事業</p> <p>菅谷高畑土地区画整理事業</p>	26	<p>菅谷高畑土地区画整理事業図面上の赤いラインで囲ってある中の菅谷線だが、普通に延びていけばそのまま高渋バイパスにつながるよう見受けられるが、この他にもバイパスまでつながる予定のものがあるのか。</p>	<p>ご指摘の赤く囲ってあるところが、菅谷高畑土地区画整理事業地内ということで面積21.89haとなっている。その中で、主要地方道高崎・渋川バイパスから当区画整備地内のほうに向かって太い線で引かれているものが将来どうなるのかというご質問かと思われるが、赤で囲ってあるところは当事業の中で整備する予定のものである。この区域外については、この先どうなるのか予定がたっていない状況である。</p>
	27	<p>赤い線のところまでしか計画がないということは、この菅谷線はここで止まってしまう可能性が高いという解釈でよろしいのか。もしそうであるなら無駄のないように進めていただきたい。</p>	<p>今のところはいつごろから、どんな形でという具体的な部分にはまったく至っていない状況である。</p>
<p>污水管渠整備事業</p>	28	<p>菅谷地区について申し上げますと、ここは人口密度も多いので、早く下水道幹線を整備して、事業に投入した多額の費用を改修するために普及率をあげていただきたい。具体的には菅谷南線と中央線のぶつかったところを基点として、南線と交差するところまでの幹線の整備を早くしていただきたい。</p>	<p>菅谷中央線の整備については、予定としては平成21年度の完成。共用開始をめざして、現在予算見積りを行っているところである。</p>

地域に係る事業の質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
堤ヶ岡第二小学校（仮称） 整備事業	1	高渋バイパスの歩道橋が設置されるに伴い通学路はどう検討しているか。また、行政はどのように関わっていただいているのか伺いたい。	<p>歩道橋が設置されるに伴う通学路の変更については、特に高渋バイパスから菅谷南線に合流するまでの間の路線が、かなり交通量が多いので、その横断をどうするかが懸案となっている。</p> <p>行政としてはその交通量の関係で警察に要望はしたが、交通量の多い重要な路線であるだけに、朝の時間帯だけ閉鎖するという事は更に難しいという回答をいただいている。北側の信号が赤になると、40秒間車両がストップする時間帯があるので、それを有効に利用して保護者の方々の協力も得て、横断してもらうという方法もあるかとは思いますが、なかなか調整が進んでいない状況である。</p> <p>その他標識等設置の要望に関しては地域振興課が担当として警察のほうをお願いをしている。</p>
	2	開校時に授業で児童が利用するために調達する備品以外に、学校開放にあたってはまた別途に基本的な備品が必要となると思われるが、今後どう整備していく予定か。学校開放の状況も含めて教えていただきたい。	<p>1階の部分が学校開放の対象となっている。区長、民生委員、各種団体の会合に地域開放を考えている。他に市内では並榎中学校、中央小学校が地域開放型の学校となっている。</p> <p>備品調達の件については、担当課長より次回審議会本番に回答させていただきます。</p> <p>桜山小学校の備品の整備の関係であるが、クラブ活動、運動会等そういった行事も含めて授業で必要となるものを中心に現在準備を進めているところである。学校開放については、スペース（教室等）を使っただけということで、特別に学校開放のために備品の整備を考えてはいない。</p> <p>なお、学校開放について、学校開校後に運営がスムーズに行くようになった段階で地域の皆様方とも相談しながらどのような形で対応していくかという相談をさせていただきたいと考えている。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
堤ヶ岡第二小学校(仮称)整備事業	3	<p>マーチングについては子供たちも小学校4年生くらいから楽しみにしている。また、陸上記録会の練習の際には授業で使わないような備品も必要ではないかと想像している。そのような備品は、開校後に保護者や地域の方々が補充していくこともやむを得ないと思うが、堤ヶ岡小と桜山小それぞれの児童がなるべく同じ環境の中で学校活動を送り、文化活動にも取り組めることが望ましいと思う。管楽器などは大変高価なもので、整備は難しいと思うが、せっかく今まで長きにわたって子ども達の取り組んできたものが、分離することが理由で途絶えてしまうのは大変もったいないのでなんとか考えてやっていただきたい。</p>	<p>基本的に授業を主体として考えているので、例えば運動会の時の鼓笛隊等で使用する楽器を、マーチングのほうでも利用していただきたいというスタンスで考えている。また、開校後に学校のほうに多少予算があるので、当初整備したもののだけで不足する場合も出てくるので、そういったものは学校のほうで検討をいただきながら揃えていただくような形になるかと思う。その他、更に足りないような場合は、PTAとか保護者の方々にご協力いただくケースもでてくると思うが、基本的には授業をスタートするにあたって支障のないような形で今は整備を進めている。</p>
	4	<p>食鳥組合から北側の児童については横断歩道がないので、遠回りして通学せざるを得ない状況だが、橋のあたりに手押信号を設置してもらえれば通学しやすくなるが、その実現可能性について教えていただきたい。</p>	<p>警察に要望はしているが、警察のほうも県内の同様の要望に対して優先順位を決めて対応している状況かと思われるので、今後も折にふれて要望を継続して行っていきたい。</p>
保渡田古墳群保存整備事業	5	<p>私達はボランティアとして今後も出来る限りの活動を続けていくつもりだが、行政の今後の維持管理はどう検討しているのか。</p>	<p>保渡田古墳群についてはボランティアのみなさんのおかげで大変美観が保たれている。現在は、公園緑地課と文化財保護課で必要な管理をしているが、今後も市のほうで必要な予算は確保していきたい。</p>
放課後児童健全育成事業	6	<p>学童保育の件で伺いたい。資料の平成20年度事業内容というところに「専用施設整備予定(桜山小学校、その他1か所建設)」となっているが、その1か所とはどこの小学校か。</p>	<p>これは矢中小学校に建設されるものである。</p>

その他の質疑

No.	質 疑	回 答
1	<p>新市基本計画にも入っているし、また引き続き第5次総合計画前期実施計画事業の中にも「学校給食自校方式の推進」という項目があるが、群馬地域では群馬町時代に新しい給食センターを整備しセンター方式で進めていた。</p> <p>今度できる桜山小学校は自校方式ということだが、高崎市では「自校方式」を推進するということのようなのだが、給食センターが老朽化するのを待って、自校方式に移行していくのか、あるいは、一定の時期に自校方式に変えていくのかお聞きしたい。</p>	<p>給食センターの老朽化が進んでいる榛名地域から来年度給食室の建設に入っていく予定になっている。それに引き続き、箕郷地域、次に新町地域という順に整備していく計画である。</p> <p>群馬地域の給食センターについては、まだ施設も新しいということで新町地域の後になるが、その時期については検討をしながら進めたいと考えている。いずれにしてもいちどきに給食室を整備するのは不可能であるので、その辺の計画を考えながら、順次進めていきたい。</p>
2	<p>先般の懇談会の回答から、防衛補助事業で群馬地域については民生安定事業については採択が非常に厳しいということは理解できた。もうひとつ群馬中央中学校は防衛省の障害防止事業で防音工事をしていただいたが、中央中より基地に近い金古小や金古南小の対応はどうかお尋ねしたい。住民に対して説明をする必要があるのよろしくお聞きしたい。</p>	<p>防衛省所管の防衛施設周辺の補助のメニューのひとつとして障害防止工事というのがあり、その中に学校の防音工事というのがある。旧群馬町ではその補助を受けて実施されたというふうに伺っている。この補助の採択については、騒音の大きさ等基準がある。その基準に照らしあわせて補助が決定するが、その前提として、防衛省の予算の範囲内ということがある。聞き及んでいるところでは、防衛省の施設周辺対策予算はかなり厳しいということで、今年度も昨年度に比べ減額をされてきているようである。民生安定と同じように障害防止工事の関係の予算についても、同じように大変厳しいという認識。今後の補助採択についても現状ではなかなか難しいのではないかとこのように理解をしている。</p>
3	<p>群馬地区ではぐくみ農協が委託されて行っている元気老人対策のすみれの会というのがあるが、予算的に今年で終わりだと聞いている。最近、利用されているお年寄りから続けてもらいたい旨の要望をいただいている。現在は民生委員と地域の方がやっている「いきいきサロン」(社会福祉協議会主催)というのと2本だてのようになっているが、いきいきサロンはボランティアだけでやっているの、もう少しすみれの会方式のように市の事業委託という形で地域での元気老人の集いが続けていけないものかお聞きしたい。</p>	<p>ただいまのご質問だが、これはミニデイサービスのことかと思われる。この事業については榛名地域と群馬地域で実施している。いきいきサロンとの競合の件もあるので、その辺の中でうまく進めていけるように本庁と連携をとりながら調整を図ってまいりたい。</p>

No.	質 疑	回 答
4	<p>国分寺遺跡の関係で少し伺いたいが、西毛広幹道からの道路が整備されるということを目にしたが、その辺の進捗状況をきかせていただきたい。</p>	<p>西毛広幹道から入る道路は県のほうで進めている。現在、橋を染谷川にかける工事が実施されており、20年度中に下部工(土台部分の工事)を進め、21年度で上部工(歩行部分の工事)を整備する計画と聞いている。</p>
5	<p>広報の配布時に、その他の回覧が大量にくる。これは経費の面においてもムダかと思われるし、また配布する側の労力も必要となる。市の催し物があるとき、広報への掲載、ポスターの掲示、チラシの配布と3重に掲載される。市民としては、一番頼りにしているのは広報誌であり、次に大きなポスターかと思われる。チラシを回覧しても住民はほとんど見ていない。ついては、広報誌で間に合うものは、極力チラシの配布は割愛してもらえないか。</p>	<p>ポスター、チラシともに担当課はなるべく多くの方に来ていただきたいという趣旨で作っているものだが、委員のご意見の内容は理解したので、担当部課のほうに伝えておく。</p>